

2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年4月10日

上場会社名 株式会社カーブスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7085 URL https://www.curvesholdings.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増本 岳
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松田 信也 (TEL) 03-5418-9922
 四半期報告書提出予定日 2020年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績(2019年9月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	14,431	—	2,988	—	3,046	—	2,056	—
2019年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 2,259百万円(—%) 2019年8月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	24.98	—
2019年8月期第2四半期	—	—

(注) 2019年8月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第2四半期の数値及び2020年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	32,839	7,985	24.3
2019年8月期	34,224	7,742	22.6

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 7,985百万円 2019年8月期 7,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	24.50	—	24.50	49.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年8月期(予想)配当金については、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結通期業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、当該理由につきましては、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期2Q	82,298,284株	2019年8月期	82,298,284株
② 期末自己株式数	2020年8月期2Q	ー株	2019年8月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期2Q	82,298,284株	2019年8月期2Q	ー株

(注) 2019年8月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第2四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、本四半期決算短信公表時にあわせて開示いたします。

また、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、決算説明につきましては、2020年4月17日(金曜日)に事前に撮影した映像を当社ホームページ上に掲載する形式で行います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 事業等のリスクに関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）は主力事業である「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」などを通じて健康長寿社会の実現に寄与し、超高齢社会の課題の解決に貢献する「地域の健康インフラ」「社会課題解決型事業」として、店舗数の拡充及び顧客サービス強化による会員の満足度向上に努めてまいりました。

第2四半期連結会計期間（2019年12月～2020年2月）は季節的要因によって新規入会が低調に推移し例年会員数が減少をする時期に当たるため、一層の顧客満足度の向上を通じて退会率の着実な低減を実現し、会員数の減少幅を抑える取り組みを図って参りました。公益財団法人日本生産性本部「サービス産業生産性協議会」による顧客満足度調査においては、フィットネス業種で6年連続（2014年～2019年度）第一位に選ばれております。

これらによって、当第2四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数（メンズ・カーブスを除く）は前連結会計年度末比23店舗増加し（前連結会計年度末比1.2%増）2,014店舗（内グループ直営店65店舗）に、会員数は10千人増加し832千人（同比1.2%増、対前年同月比13千人増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下の通りとなりました。

（売上高）

当第2四半期連結累計期間の売上高は、144億31百万円となりました。

（営業利益）

当第2四半期連結累計期間の営業利益は、29億88百万円となりました。

（経常利益）

当第2四半期連結累計期間の経常利益は、支払利息等を計上した一方、為替差益が発生した結果、30億46百万円となりました。

（親会社株主に帰属する四半期純利益）

当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税を11億43百万円計上したこと等により、20億56百万円となりました。

なお、当社グループはカーブス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億85百万円減少し328億39百万円（前連結会計年度末比4.0%減）となりました。

流動資産は11億円減少し101億80百万円（同比9.8%減）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が3億36百万円、商品が2億29百万円増加した一方で、現金及び預金が10億33百万円減少したことなどによるものです。

有形固定資産は13百万円増加し3億36百万円（同比4.1%増）となりました。これは主に、工具、器具及び備品が11百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は2億75百万円減少し218億8百万円（同比1.2%減）となりました。これは主に、商標権が2億3百万円、その他の無形固定資産が1億1百万円およびのれんが15百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は22百万円減少し5億14百万円（同比4.3%減）となりました。これは主に、繰延税金資産が20百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は2億84百万円減少し226億58百万円（同比1.2%減）となりました。

（負債）

流動負債は5億99百万円減少し74億18百万円（同比7.5%減）となりました。これは主に、未払法人税等が25百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が3億62百万円、未払金が3億6百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は10億28百万円減少し174億35百万円（同比5.6%減）となりました。これは主に、長期借入金が9億20百万円および繰延税金負債が1億8百万円減少したことなどによるものです。

負債の総額は16億28百万円減少し248億54百万円（同比6.2%減）となりました。

(純資産)

純資産は2億43百万円増加し79億85百万円(同比3.1%増)となりました。これは主に、為替換算調整勘定が2億3百万円増加し、また、剰余金の配当により20億16百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益20億56百万円の計上により、利益剰余金は39百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して10億33百万円の減少(同比19.3%減)し、43億16百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、21億89百万円の資金増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が30億44百万円、減価償却費が2億88百万円、法人税等の支払額が5億39百万円、仕入債務の減少額が3億63百万円および売上債権の増加額が3億30百万円だったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、2億91百万円の資金減少となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が2億6百万円、有形固定資産の取得による支出が80百万円だったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、29億36百万円の資金減少となりました。これは主に、配当金の支払額が20億16百万円、長期借入金の返済による支出が9億20百万円だったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の国内および欧州における感染拡大およびそれに伴う経済活動、消費活動の停滞によって、新規入会数減少と退会数増加による会員数の減少に伴うロイヤルティ売上などの減少、新規出店の延期もしくは中止によって、売上が当初予想対比で落ち込むことが見込まれ、またフランチャイズ加盟店への経営支援コストなどが増加をすることが予想されます。

一方で、新型コロナウイルス感染症の収束時期は未だ予測することができず、当社業績への影響も確かな予想が困難な状況にあります。

そのため、2020年8月期の連結業績予想につきましては未定とさせていただきます。

詳細につきましては、本日公表しております、「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって市場環境が頻繁に変化する状況であることに鑑み、引き続き業績動向を注視し、業績への重要な影響が生じた場合は、内容を精査の上、適時開示が必要な場合は速やかに公表して参ります。

(4) 事業等のリスクに関する説明

直近の有価証券届出書に記載した「事業等のリスク」について、直近の有価証券届出書の提出日後、当第2四半期決算短信提出日現在までの間において追加すべき事項が生じております。

また、以下の見出しに付された項目番号は、直近の有価証券届出書における「第二部 企業情報 第2 事業の状況 2 事業等のリスク」の項目番号に対応したものです。なお、以下の文中における将来の事項は、当第2四半期決算短信提出日現在において当社グループが判断したものであります。

[追加事項]

(5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業リスクについて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当社グループでは専門の医師の方々や行政機関等より情報を収集し、2020年1月より店舗(直営店、FC店)内外での感染予防のための様々な取り組みを徹底して参りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の国内および欧州における感染拡大およびそれに伴う経済活動、消費活動の停滞による新規入会数減少や退会数増加による会員数の減少、緊急事態宣言の発令を受けての店舗の休業や、特別休会制度（感染による重症化リスクが高い方（基礎疾患をお持ちの方、ご高齢の方など）に感染が収束するまでの期間、会費はいただかずに休会していただく措置）によるロイヤルティなどの収入の減少、また、新規出店の延期もしくは中止による売上高の減少や、フランチャイズ加盟店への支援コストなどの増加が想定されます。今後、新型コロナウイルス感染症の収束時期によっては当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,350,073	4,316,762
受取手形及び売掛金	3,780,423	4,117,270
商品	898,663	1,128,353
原材料及び貯蔵品	2,154	9,236
その他	1,346,906	734,715
貸倒引当金	△97,098	△126,105
流動資産合計	11,281,123	10,180,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	211,560	213,477
工具、器具及び備品（純額）	111,578	122,837
有形固定資産合計	323,138	336,314
無形固定資産		
のれん	1,456,101	1,440,498
商標権	19,020,017	18,816,812
ソフトウェア	632,543	678,024
その他	974,676	872,986
無形固定資産合計	22,083,339	21,808,321
投資その他の資産		
敷金及び保証金	245,807	248,839
繰延税金資産	273,159	253,138
その他	24,014	16,177
貸倒引当金	△5,772	△3,862
投資その他の資産合計	537,209	514,292
固定資産合計	22,943,687	22,658,929
資産合計	34,224,810	32,839,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,106,050	1,743,552
1年内返済予定の長期借入金	1,840,000	1,840,000
未払金	493,465	186,962
未払法人税等	940,561	966,427
預り金	1,801,177	1,916,840
その他	837,426	765,047
流動負債合計	8,018,682	7,418,830
固定負債		
長期借入金	14,260,000	13,340,000
繰延税金負債	4,153,324	4,044,366
資産除去債務	50,778	50,877
固定負債合計	18,464,102	17,435,243
負債合計	26,482,785	24,854,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,018	20,018
資本剰余金	18	18
利益剰余金	7,579,658	7,619,486
株主資本合計	7,599,694	7,639,522
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	142,331	345,567
その他の包括利益累計額合計	142,331	345,567
純資産合計	7,742,025	7,985,089
負債純資産合計	34,224,810	32,839,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
売上高	14,431,720
売上原価	8,328,433
売上総利益	6,103,286
販売費及び一般管理費	3,115,215
営業利益	2,988,071
営業外収益	
受取利息	123
為替差益	86,044
その他	6,068
営業外収益合計	92,236
営業外費用	
支払利息	28,577
その他	5,194
営業外費用合計	33,772
経常利益	3,046,535
特別損失	
固定資産除却損	2,192
特別損失合計	2,192
税金等調整前四半期純利益	3,044,342
法人税、住民税及び事業税	1,143,469
法人税等調整額	△155,262
法人税等合計	988,206
四半期純利益	2,056,135
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,056,135

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	2,056,135
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	203,236
その他の包括利益合計	203,236
四半期包括利益	2,259,371
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,259,371
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,044,342
減価償却費	288,786
のれん償却額	39,090
商標権償却額	510,070
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,474
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,214
受取利息及び受取配当金	△123
支払利息	28,577
為替差損益(△は益)	△86,044
売上債権の増減額(△は増加)	△330,219
たな卸資産の増減額(△は増加)	△235,426
仕入債務の増減額(△は減少)	△363,178
固定資産除却損	2,192
前払費用の増減額(△は増加)	25,267
未払金の増減額(△は減少)	△246,192
未払費用の増減額(△は減少)	△64,393
その他	111,443
小計	2,757,882
利息及び配当金の受取額	123
利息の支払額	△28,577
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△539,891
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,189,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△80,526
無形固定資産の取得による支出	△206,614
敷金及び保証金の差入による支出	△4,807
敷金及び保証金の回収による収入	1,775
長期前払費用の取得による支出	△1,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△920,000
配当金の支払額	△2,016,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,936,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,444
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,033,310
現金及び現金同等物の期首残高	5,350,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,316,762

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

1. 新株の発行

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、2020年3月2日をもって同取引所市場第一部に上場いたしました。この株式上場にあたり、2020年3月1日を払込期日とする公募増資による払込を受け、新株式2,415,000株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ828,646千円増加しております。

2. コミットメントライン契約の締結

当社は、当社グループの今後の積極的な事業展開を推進していくために必要な資金需要に対して、安定的かつ機動的な資金調達体制の構築を目的として、2020年3月27日付で株式会社三菱UFJ銀行との間でコミットメントライン契約を締結いたしました。

契約概要

(1) 契約締結先	株式会社三菱UFJ銀行
(2) 契約形態	リボルビング・クレジット・ファシリティ契約
(3) 借入極度額	50億円
(4) 契約締結日	2020年3月27日
(5) 契約期間	1年間
(6) 資金使途	運転資金
(7) 担保等の有無	以下の3社が連帯保証しております。 株式会社カーブスジャパン 株式会社ハイ・スタンダード Curves International, Inc.

3. 新型コロナウイルス感染症拡大による影響

当社は、新型コロナウイルス感染症の国内および欧州における感染拡大およびそれに伴う経済活動、消費活動の停滞による新規入会数減少や退会数増加による会員数の減少、緊急事態宣言の発令を受けての店舗の休業や、特別休会制度（感染による重症化リスクが高い方（基礎疾患をお持ちの方、ご高齢の方など）に感染が収束するまでの期間、会費はいただかずに休会していただく措置）の実施を決定いたしました。

これらの施策によりロイヤルティなどの収入の減少、また、新規出店の延期もしくは中止による売上高の減少や、フランチャイズ加盟店への支援コストなどの増加が想定され、新型コロナウイルス感染症の収束時期によっては当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに影響を及ぼす可能性があります。

なお、当該影響額については当第2四半期決算短信提出日現在では合理的に算定することが困難であります。